

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国経済：9月8～10日に発表 の経済指標の注目ポイント

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

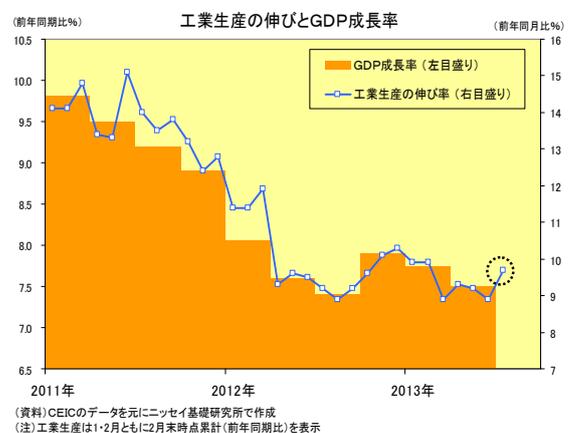
- 9月8～10日、中国では景気・物価に関する主要経済指標が発表される予定である（下表）。
- 今回の発表では、10月発表の7-9月期の実質GDP成長率を占うカギとなる工業生産、シャドーバンキングの監督強化というマイナス材料と情報・環境・鉄道関連の投資拡大というプラス材料が交錯している固定資産投資の動向に注目している。
- また、8月の消費者物価は前月より上昇率を低めて前年同月比2.4%上昇と予想している。

発表 予定日	経済指標		当研究所の予測値		前回	
				対象期		対象期
9月8日	貿易収支	(百万ドル)	17,242	2013年8月	17,818	2013年7月
	輸出総額	(前年同期比)	4.1%	2013年8月	5.1%	2013年7月
	輸入総額	(前年同期比)	10.0%	2013年8月	10.9%	2013年7月
9月9日	消費者物価指数	(前年同期比)	2.4%	2013年8月	2.7%	2013年7月
9月10日	工業生産(規模以上、実質付加価値ベース)	(前年同期比)	9.7%	2013年8月	9.7%	2013年7月
9月10日	小売売上高	(前年同期比)	13.3%	2013年8月	13.2%	2013年7月
9月10日	固定資産投資(除く農家の投資)	(前年同期比)	20.1%	2013年1-8月期	20.1%	2013年1-7月期

### ① 工業生産〔発表予定日：9月10日(火) 13:30 (日本時間では 14:30)〕

10日に中国国家统计局は8月の工業生産（実質付加価値ベース、規模以上）を発表する。前回発表の7月は前年同月比9.7%増と前月を0.8ポイント上回る大幅改善となった。前月の改善が急激だっただけに今回は反動減となる可能性はあるものの、8月の製造業PMIでは、生産指数が52.6%と前月の52.4%を上回っており、完成品在庫指数が5ヵ月連続で50%を下回るなど在庫調整も進展していると見られることから、今回は前回並みの前年同月比9.7%増と予想している。10月発表の実質GDP成長率（7-9月期）に向けて、今回の工業生産はその動向を占うカギとなる重要統計だけに要注目である（図表-1）。

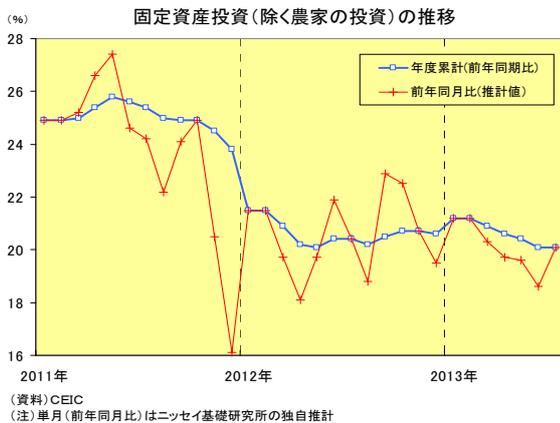
(図表-1)



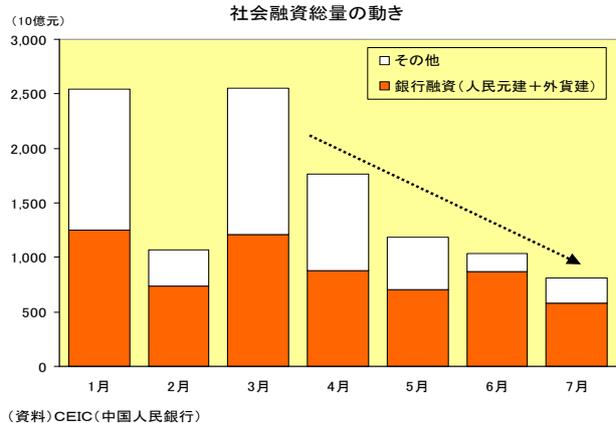
## ② 固定資産投資〔発表予定日:9月10日(火) 13:30 (日本時間では 14:30)〕

また、1-8 月期の固定資産投資（除く農家の投資）も同時に発表される予定。1-7 月期は前年同期比 20.1%増と 1-6 月期の伸び率と同じだった（図表-2）。7 月に李克強首相が経済成長率の下限を守る姿勢を示して以降、情報・環境・鉄道関連の投資を促す政策が相次いで発表されたことがプラス材料となるものの、シャドーバンキング監督強化の影響で図表-3 に示したように銀行融資以外の融資（その他）が急減速したことがマイナス材料であり、両者が交錯する中でどのような伸びを示すか注目される。今回発表の 1-8 月期は前回並みの伸びに留まると予想している。

(図表-2)



(図表-3)



## ③ 消費者物価指数〔発表予定日:9月9日(月) 9:30 (日本時間では 10:30)〕

また、9 日には中国国家统计局が 8 月の消費者物価を発表する。7 月は前年同月比 2.7%上昇と前月と同じ上昇率だった（図表-4）。8 月は豚肉や生鮮野菜が上昇、月末にはガソリン・ディーゼル油の価格も引き上げられたが、昨年も 8 月は食品価格が高かったという技術的要素を勘案し（図表-5）、8 月の消費者物価は前年同月比 2.4%上昇と前回より上昇率が鈍ると予想している。

(図表-4)



(図表-5)

消費者物価(分類別、前月比) (単位:%)

	消費者物価					消費品(モノ)	サービス	
	食品	うち 生鮮野菜		衣類	交通通信			居住
2012年1月	1.5	4.2	26.1	▲1.0	0.4	0.2	1.8	0.8
2012年2月	▲0.1	▲0.3	▲0.3	▲0.3	0.1	0.4	▲0.1	▲0.2
2012年3月	0.2	0.2	6.1	0.4	0.2	0.4	0.3	0.0
2012年4月	▲0.1	▲0.9	▲5.8	0.5	0.4	0.2	▲0.3	0.5
2012年5月	▲0.3	▲0.8	▲6.9	0.1	▲0.3	0.0	▲0.4	0.1
2012年6月	▲0.6	▲1.6	▲15.2	0.0	▲0.5	0.0	▲0.9	0.3
2012年7月	0.1	▲0.1	0.2	▲0.5	▲0.4	0.5	▲0.1	0.6
2012年8月	0.6	1.5	14.3	▲0.2	0.1	0.4	0.7	0.2
2012年9月	0.3	0.2	5.8	1.1	0.4	0.3	0.4	0.3
2012年10月	▲0.1	▲0.8	▲12.1	0.9	0.1	0.2	▲0.2	0.2
2012年11月	0.1	0.4	3.5	1.0	▲0.3	0.2	0.3	▲0.3
2012年12月	0.8	2.4	17.5	0.0	▲0.2	0.1	1.1	0.0
2013年1月	1.0	2.8	12.7	▲0.4	0.1	0.2	1.2	0.4
2013年2月	1.1	2.7	6.9	▲0.7	0.5	0.3	1.2	0.8
2013年3月	▲0.9	▲2.9	▲13.4	0.6	▲0.3	0.5	▲1.3	0.0
2013年4月	0.2	0.4	11.2	0.7	▲0.4	0.2	0.2	0.3
2013年5月	▲0.6	▲1.6	▲13.8	0.1	▲0.4	0.1	▲0.8	0.0
2013年6月	0.0	0.0	▲5.2	▲0.3	0.0	0.1	▲0.1	0.2
2013年7月	0.1	0.0	2.2	▲0.6	0.3	0.3	▲0.1	0.6

(資料)CEIC

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。